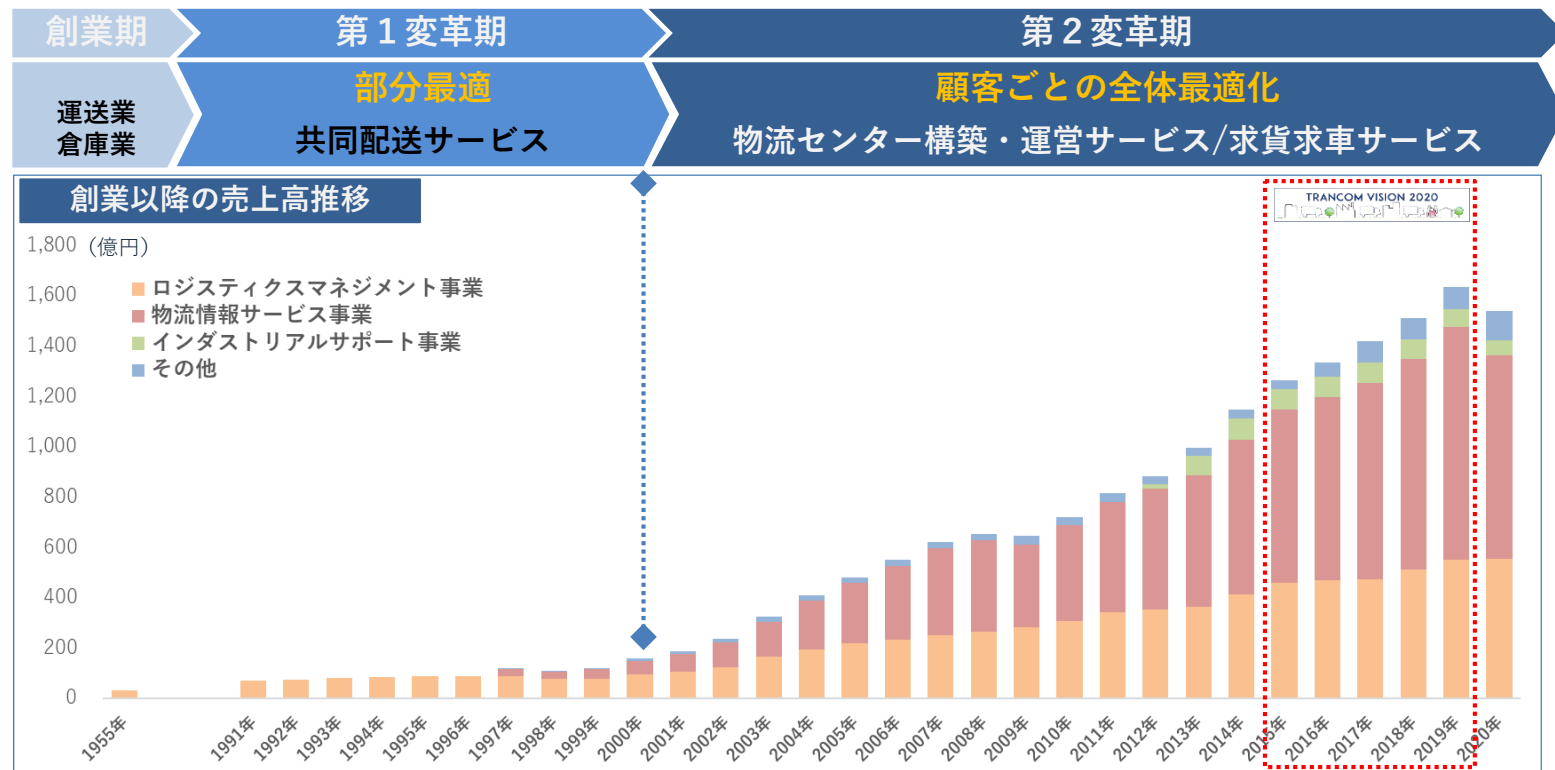




トランコムグループ 中期経営計画

TRANCOM VISION 2025

創業からの振り返り 事業変革



TRANCOM VISION 2020



総括

基本方針

人材・パートナー・ICTを成長の軸にランコムグループで一枚岩となって連携し、質が高い機能を持った強い企業グループにしていく

2015

2016

2017

2018

2019

2020

各事業の高度化 / 独自の事業モデル創出

次のステージに向けて

物流情報

- ・サービスエリア/ネットワーク拡充（新規出店）
- ・中ロット/ドレージなど新たな輸送マッチングへ挑戦
- ・専属車両の増便
- ・業務オペレーションの効率化（BIツール導入/コンパス機能追加）
- ・パートナー支援サービスの充実（トラックリース/採用サイト/みんなのコンパス）

LM

- ・得意なカテゴリの拡充
- ・新たな物流分野へ挑戦（販促物/自動車部品/構内物流）
- ・各エリアで圧倒的な現場運営力、生産性の向上

IS

- ・LM事業とのシナジー「つくってはこぶ」実現
- ・盤石な事業基盤の構築

海外

- ・（中国）自動車部品物流開始（タイ）3PL事業開始（シンガポール）今後のASEAN地区への展開

事業／組織

- ・国内でのオートモーティブ事業開始
- ・パレット回収物流の事業化
- ・異業種/既存顧客の共同輸送へ挑戦
- ・自社中継拠点（袋井市）－大型車両乗り入れ可能
- ・全社営業の組織化と活動強化
- ・ICTを事業の武器に－DX推進室を組成

協業／連携

- ・各企業との協業
世界有数のトラックメーカー日野自動車/NLJとの相互資本業務提携
－ 先進技術を活用した次世代の物流ソリューションの開発・提供
日本GLP/モノフルとの協業
－ 輸配送・配車の新たなソリューションの提供
Chinoh.Aiとの資本業務提携
－ 次世代物流センター（自動化）推進
- ・国/自治体との連携強化－パレット回収実証事業採択

TRANCOM VISION 2020



定量

	目標 2020年3月期		実績 2020年3月期
売上高	2,000億円		1,634億円
営業利益率	5.0%～6.0%		4.6%
ROE	13.0%～15.0%	>	13.6%
ROA	7.0%～8.0%		8.7%
配当性向	20.0%～30.0%の 安定配当		20.7%

今後の外部環境

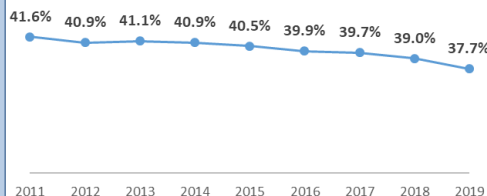
- ✓トラックドライバー不足（高齢化、労働人口の減少）
- ✓2024年 法令改正（働き方改革）
- ✓トラック輸配送の効率性向上は必須
- ✓積載率は長期にわたって低下傾向

2019年～

2019年～
働き方改革（労働時間の上限）

トラックの積載率（日本）

〔出所〕国土交通省「自動車統計輸送年報」



2023年～

2023年4月1日～

働き方改革：中小企業向け時間外労働月60時間超過の割増率引上げ(25%→50%)

2024年4月1日～

働き方改革：時間外労働の限度基準除外見直し（ドライバー）

2023年頃～

隊列走行 レベル3後続車有人

2028年頃～

トラックドライバー数24万人不足

出所：ポストンコンサルティンググループ

2025年頃～ 隊列走行

隊列走行 レベル4後続車無人システム商業化の可能性

外部環境

国内物流市場環境

・物流に関わる内部課題

- ー リアルタイムで正確な情報入手が困難
- ー 経験や勘での作業や人員計画
- ー 属人的な業務

・物流に関わる外部課題

- ー 構造的な少子高齢化
- ー ホワイト物流対応
- ー 流通ロットの多頻度・少量化
- ー リードタイム短縮の要求
- ー 低炭素型で持続可能な物流システム構築実現に向けた取り組み加速

国内市場

約24兆円

物流業界に求められる地球温暖化対策
中期目標

2030年度までに13年度比27.3%削減

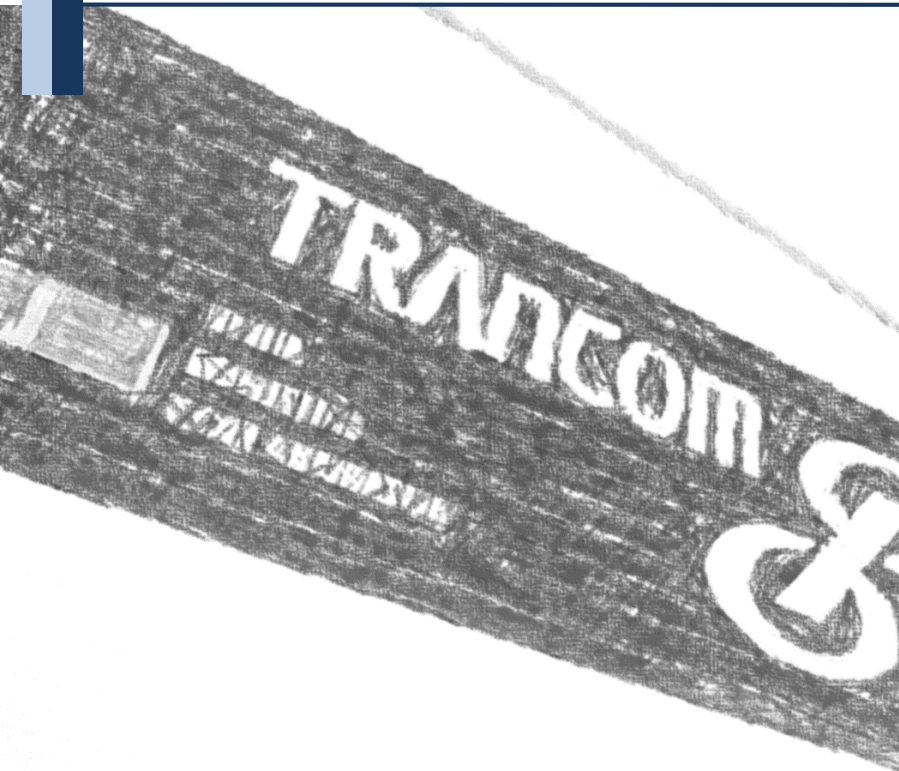
	2030年度の各部門の 排出量の目安	2013年度実績比
エネルギー起源CO2	927	▲24.9%
産業部門	401	▲6.5%
業務その他部門	168	▲39.8%
家庭部門	122	▲39.3%
運輸部門	163	▲27.6%
エネルギー転換部門	73	▲27.7%

[出所] 国土交通省



事業の軸を「Transport」に集中

TRANCOMのありたい姿



mission

物流という社会インフラを担う企業として、
社会課題の解決と抜本的革新に挑戦し続ける

vision

広く多くの企業（荷主・物流事業者）に利用される
プラットフォーム（＝最適に「はこぶ」かたち）の実現

value

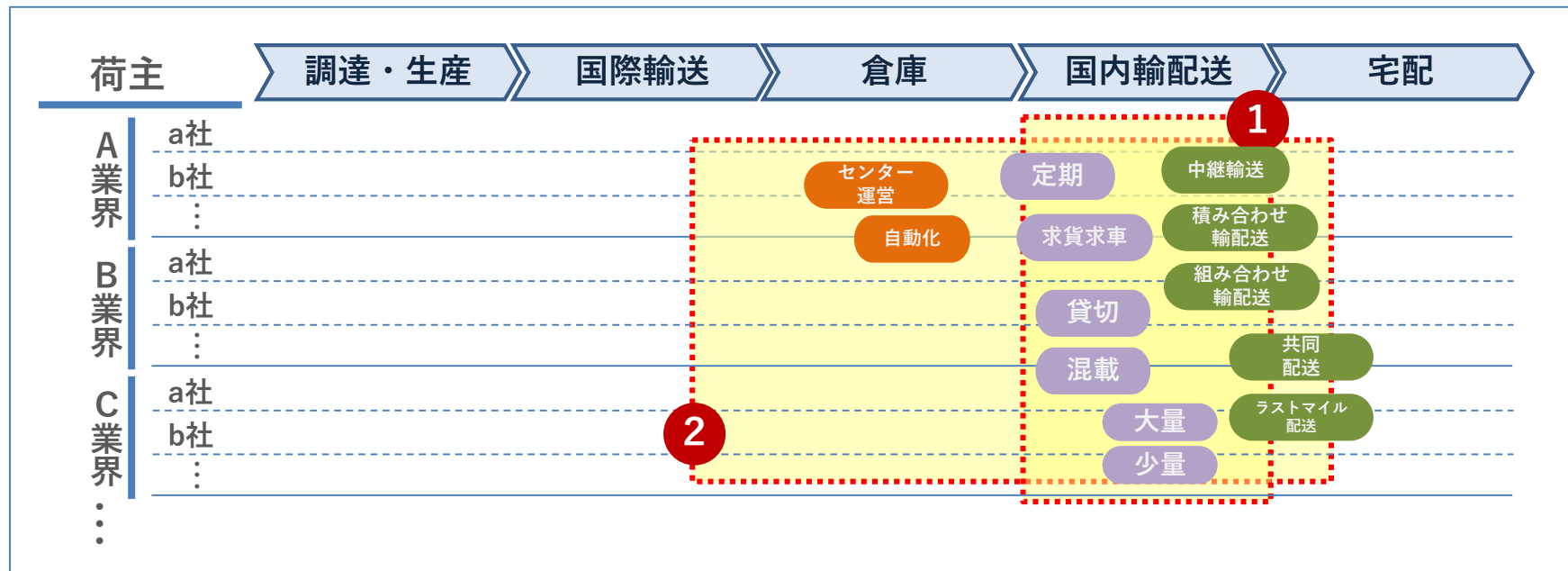
期待される存在でありたい
誠実 創造 挑戦 団結 感謝

strategy

今まで培ってきたネットワーク・ノウハウに
アイデアとテクノロジーを組み合わせ
新しい価値を創造する

TRANCOM VISION 2025

「はこぶ」の考え方



① 広く多くの企業に利用されるプラットフォーム

> 国内輸配送における仕組み・システムの構築



② 付加価値の提供

> 物流センター運営・国際物流等



DX化

> データ化・関係

TRANCOM VISION 2025

主要戦略

あらゆる経営資源をTransportに集中

Transport へ注力

1. 輸配送能力の増大・向上 / 多種多様な輸配送モードの拡充
2. 国内における取り扱う輸送量の増大
3. 求貨求車サービスの事業高度化
4. 他社との協業によるイノベーション強化
5. デジタル化の進化へ向けたシステム開発/他社とのデータ関係構築

既存事業の 基盤構築

6. ロジスティクスマネジメント事業の強固な事業基盤構築
7. ASEAN地区での成長強化

成長基盤の 再構築

8. 人材・組織のさらなる強化/多様化
9. ESG/SDGs経営への進化

TRANCOM VISION 2025

Transport 主要戦略

多種多様な 輸配送 モード の拡充

- ・ 自社車両/既存業務でのノウハウ蓄積
- ・ パートナー企業との連携強化

何で

- ☒ トラック ☒ トレーラー
- ☒ 連結トレーラー
- ☒ コンテナ ☒ 鉄道
- ☒ 船 ☒ 飛行機
- ☒ 自動運転トラック

どう

- ☒ 貸切で
- ☒ 混載して
- ☒ 大量を
- ☒ 少量を

工夫して

☒ 中継輸送

- 荷物を積替え ○ スイッチ運行
- ドライバーチェンジ ○ 休憩/仮眠/宿泊

☒ 積み合わせ輸配送

- 重いものと軽いもの ○ 異業種

☒ 組み合わせ輸配送

- 輸送と配送 ○ 配送と配送

☒ 共同配送 (届け先が同一)

☒ ラストマイル配送 (近距離/to B)

取り扱う 輸送量の 増大

- ・ 全社営業の強化
- ・ 求貨求車サービスのさらなる拡大

- ☒ 既存取引先の輸送量の拡充
- ☒ 新規顧客の開拓
- ☒ 回収物流の拡大
- ☒ スポット貨物の増大

デジタル化 推進

- ・ モノと情報をつなぐ仕組みを構築

- ☒ 幹線/支線配車システムの開発
- ☒ 求貨求車システム Compassの改修
- ☒ パートナー企業システム関係

TRANCOM VISION 2025

人材/組織 ESG/SDGs 主要戦略

人材/組織

・ 自己成長の意志を引き出せる活気ある組織づくり

- ☒ 人材の発掘・登用
- ☒ 個々人が成長する場の創出
- ☒ 次世代リーダーの育成
- ☒ 専門性人材の採用

ESG/SDGs 経営

・ CO₂排出量実質ゼロに向けた取り組み

- ☒ 「はこぶ」創造による物流効率化でのCO₂削減量の把握
- ☒ 電動車両の導入（EV・FCV）

・ ダイバーシティ推進の強化

- ☒ 女性活躍の推進
- ☒ 障がい者雇用の促進
- ☒ 国籍にとられない協働の促進

・ 循環型社会の構築

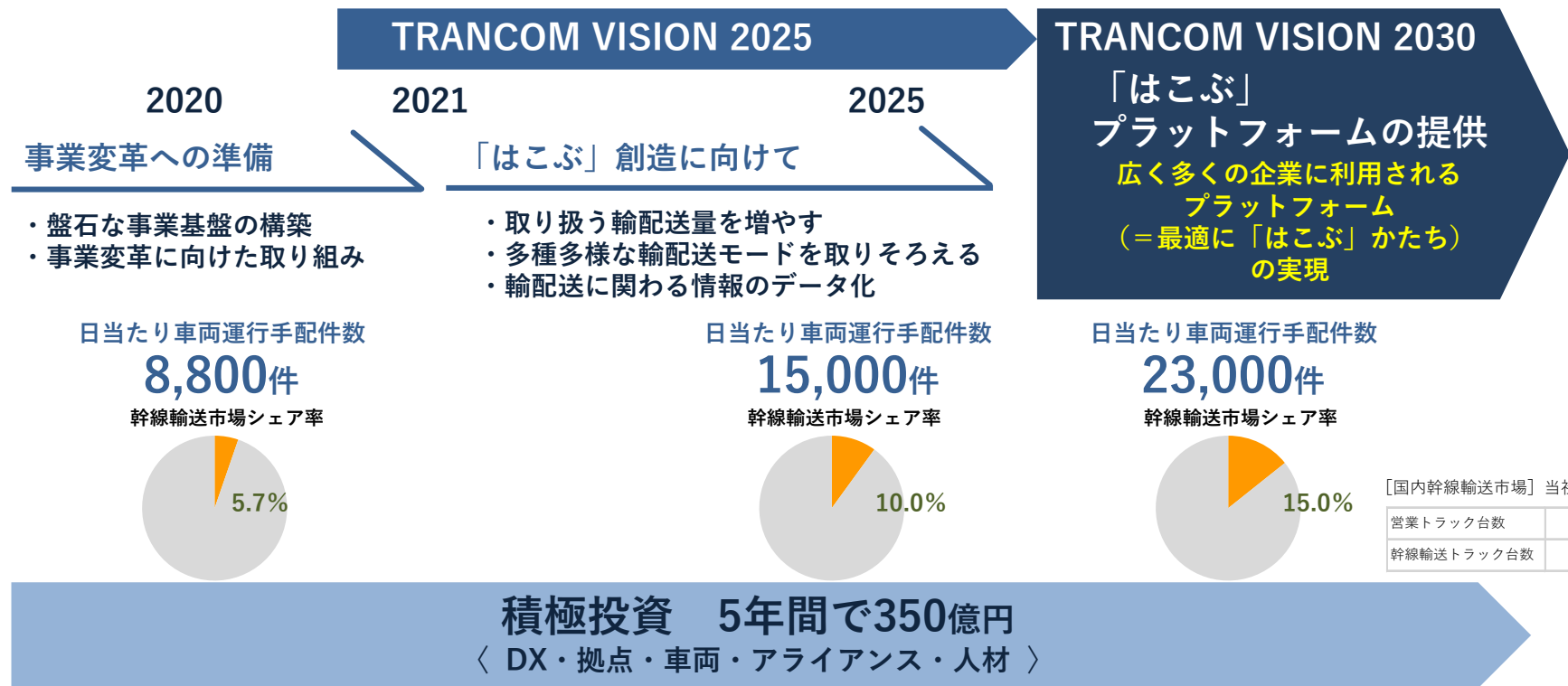
- ☒ 静脈物流／回収物流の仕組み構築

・ 実質的ガバナンスの強化

- ☒ 取締役会の機能向上に向けた社外取締役との連携強化

TRANCOM VISION 2025

成長イメージ



TRANCOM VISION 2025

KPIと数値目標

	2021年3月期 (2020年度)	2026年3月期 (2025年度)
「はこぶ」手配件数／日	8,800件	15,000件
幹線輸送シェア率	5.7%	10.0%
CO ₂ 削減量／年	132,964 t-CO ₂	243,249 t-CO ₂
売上高	1,522億円	2,200億円
営業利益率	5.4%	5.0%~6.0%
ROE	14.2%	12.0%~15.0%
ROA	9.2%	8.0%~10.0%
配当性向	19.6%	20.0%~25.0%

※CO₂削減量：効率的な輸配送サービス提供により、排出が抑制されるCO₂量

NEXT to you

「はこぶ」を創造する

はこぶ
transport

かたち
platform

ともに。
partnership

世の中には、たくさんの
「かたち」が在る。
かたちを変えて、成長していく。
人々にぴったり合うものをつくっていく。
それが、私たちの「かたち」。
ちょうど、ぴったり、まさに、
色んな「はこぶ」を「かたち」にしていく。

TRANCOM

本資料及び I R 関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

トランコム株式会社
YOUR LOGISTICS COLLABORATOR

M A I L : ir_info@trancom.co.jp
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015
www.trancom.co.jp



経営企画グループ

T E L : 052-939-2023 F A X : 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。